

研究課題名	日常診療で経験した膠原病患者に関する後ろ向き研究
研究期間	実施許可日 ～ 2029 年 3 月 31 日
研究の対象	2009 年 1 月 1 日～2028 年 3 月 31 日に原田病院を受診され、膠原病と診断された患者さん。
研究の目的・方法	研究目的： 膠原病は稀な疾患であり、その多くは未だに原因が不明です。炎症性の要素が強い疾患では、ステロイドや免疫抑制剤などの早期治療で改善を見込めますが、いずれも副作用が多く、それらを最小限に抑えながら病勢コントロールを行うことが重要です。また、昨今の治療を駆使しても腎炎、間質性肺炎、末梢神経障害などの臓器合併症で日常生活に支障をきたす方もおられます。当科で経験した患者さんの治療経過を検討することで、今後の膠原病患者さんの早期診断や治療予後改善を目指す目的で本研究を計画しました。 研究の方法： 本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。また、本研究は通常診療で採取され残った血液検体（残余検体）を用いて、病気の活動性との関与が予測されるタンパク質などを測定し、解析に用います。
研究に用いる試料・情報の種類	カルテから使用する内容は年齢、性別、BMI、診断名、合併症、既往歴、治療内容、臨床症状・所見、合併症、血液・尿検査値、画像検査、生理検査、病理検査、治療法、評価項目・転帰です。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）
外部への試料・情報の提供	誰のものか分からないよう加工された試料・情報は、研究代表機関である広島大学に郵送・電子メール等で提供します。
利用または提供を開始する予定日	原田病院における実施許可日：2025 年 3 月 5 日以降
個人情報の保護	試料・情報を提供する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないよう加工した上で提供します。個人と連結させるための対応表は、本院の研究責任者が保管・管理し、研究代表機関へ提供しません。
研究組織	研究代表機関 呉医療センター・中国がんセンター 徳永 忠浩 （研究機関の長：繁田正信） J R 広島病院 渡辺 裕文 （研究機関の長：田妻進） 原田病院 茂久田 翔

	(研究機関の長：山下和臣) 市立三次中央病院 (研究機関の長：永澤昌) 佐藤 真由
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。 【お問合せ先】 〒731-5131 広島市佐伯区海老山町 7 番 10 号 医療法人一陽会 原田病院 電 話 : 082-923-5161 (代表) 担当者 : 医局 リウマチ膠原病科 茂久田翔